

みんなでこども館をつくらう！

建築・デザインワークショップ

報告会を開催！



こども館（仮称）づくりの流れ

- ①キックオフ・フォーラム 平成24年8月4日(土)
- ②関係団体ヒアリング
- ③プレワークショップ
平成24年8月18日(土)、26日(日)、9月2日(日)
- ④建築デザインワークショップ
 - 第1回 知る 平成24年9月9日(日)
 - 第2回 考える 平成24年9月30日(日)
 - 第3回 描く 平成24年11月18日(日)
 - 第4回 まとめる 平成24年12月8日(土)
- ⑤展示公開型パブリック・コメント
平成25年2月1日(金)～22日(金)
- ⑥実践子ども学レクチャー 平成25年3月16日(土)

2月16日(土)、那珂川町中央公民館講堂において「那珂川町こども館（仮称）づくり 第5回建築デザインワークショップ」を開催しました。当初の予定にないプログラムでしたが、前回のワークショップ（12/8）以降に検討を重ねてまとめた基本計画骨子（案）を報告するために開催し、20名が集まりました。

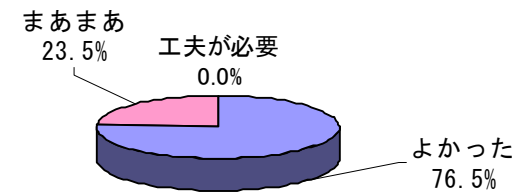
まず、昨年8月のキックオフ・フォーラムからスタートしたこども館づくりの経緯を振り返りました。そして建築デザインワークショップにおいて出された皆さんの意見をもとにまとめた基本計画骨子（案）を説明しました。

次に、平成26年度開館予定のこども館の運営方法について3タイプの方法を説明し、町に合った運営方法を検討しました。

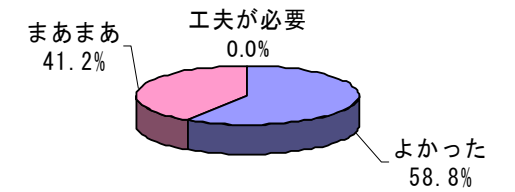
第5回建築デザインワークショップ（報告会）
平成25年2月16日(土)

アンケート結果

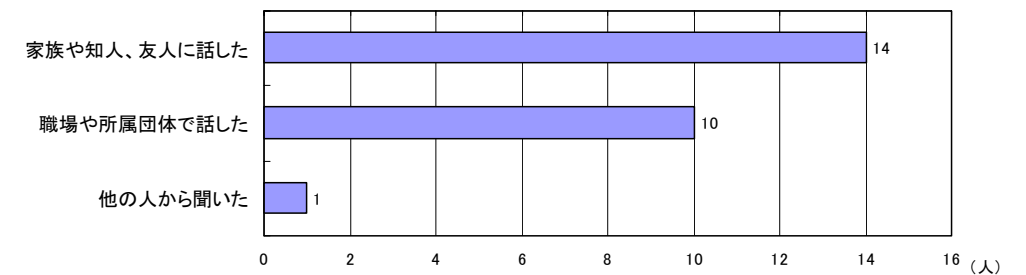
こども館づくりの全体的な印象は？



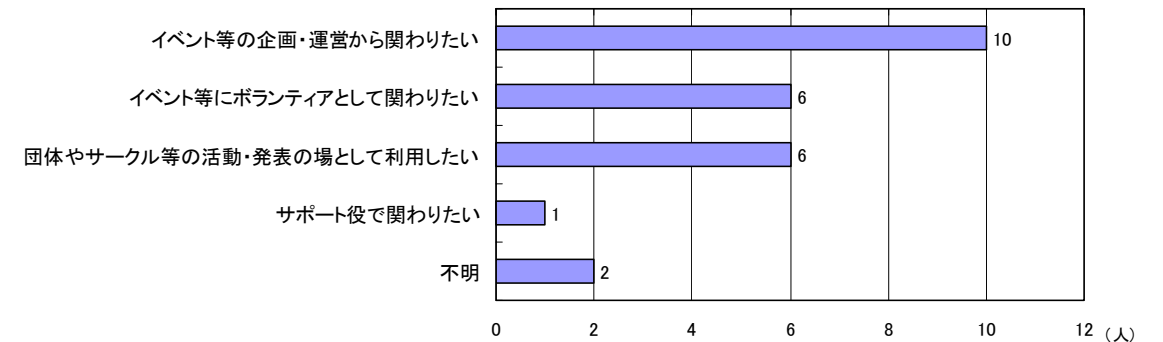
今回の取り組みは住民参画で進めましたが、いかがでしたか？



今回の取り組みを・・・



こども館の運営にどのように関わりたいですか？（複数回答）



自由意見

- ・参加してとても楽しく意見交換できた。
- ・子ども会育成会のお世話をしています。地域の子ども健全育成のためにこども館を活用したい。
- ・住民の意見がでて、それを十分取り入れて頂いたため、後は多くの方にこのことが分かるように、広報で発信して欲しい。
- ・1階ウッドデッキはお昼ご飯を食べるスペースにもなるので、足洗場だけでなく手洗い場も欲しい。
- ・上から下への落下物や子ども(多動児童)のよじ登りが心配なので、ネット設置は、ボール遊び以外の心配として必要になると思う。

実践子ども学レクチャーのお知らせ

日時：3月16日(土)10:00～(2時間程度)

場所：那珂川中央公民館 講堂

今年度のこども館づくりの最後の取組みとして、「実践子ども学レクチャー」を開催します。これまで、総合プロデューサーとして関わって頂いた目黒実（九州大学特任教授）氏による子ども論、子ども居場所論のレクチャーを受け、こども館の理念、目的を町民に伝えます。

お問い合わせ先 那珂川町役場 子育て支援課 TEL (092) 953-2211 (代表)

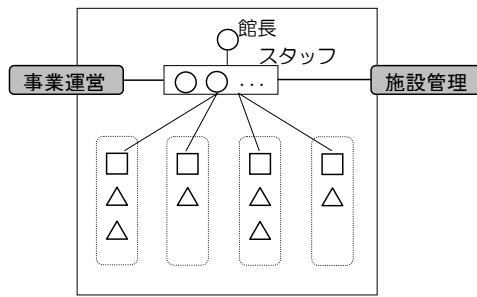
こども館運営について



こども館が開館する平成26年度に向けて、どのような運営体制が望ましいかを話し合いました。

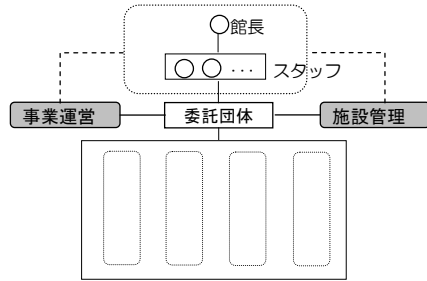
まず、運営体制を「行政管理型」「委託協働型」「市民協働型」の3タイプに分類し、「信頼・サービス・ニーズ・経費」を指標に特徴を確認し合い、総合的に町にあった運営体制を考えました。

行政管理型



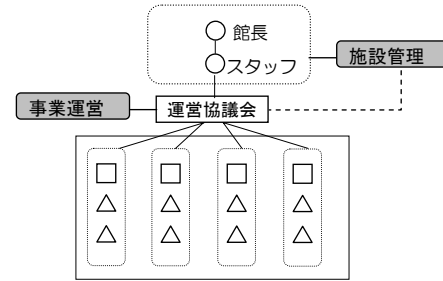
- ・直営なので安心感がある。
- ・制約が多くやりたいことができなさそう。

委託協働型



- ・一つの団体のみで運営するとその団体のカラーが強くなり望ましくない。
- ・専門的な意見がきける。

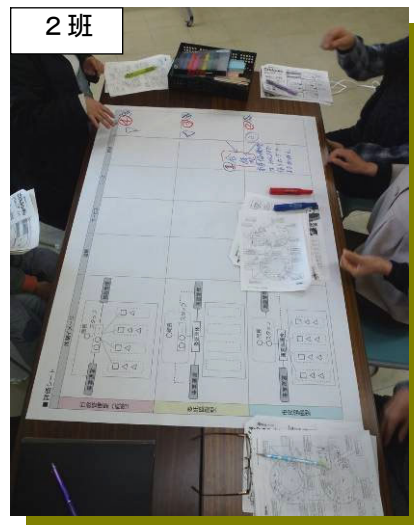
市民協働型



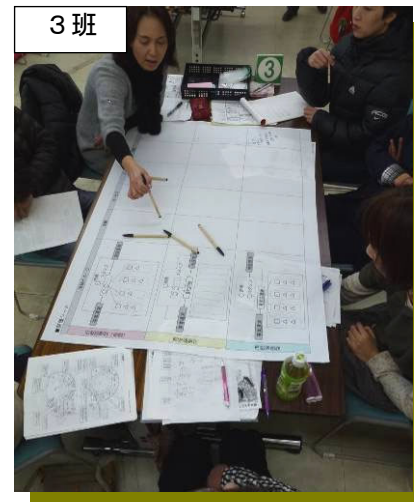
- ・みんなで作り上げていくよさがある。
- ・自由な企画、運営ができ、活動の広がりがありそう。
- ・今までの人とのつながりを続けられる。
- ・スタッフが有給なら持続可能
- ・経営能力が必要。
- ・世代を超えた人材確保が課題。
- ・運営協議会の参加団体の連携と各分野の一体化が必要。



1班



2班

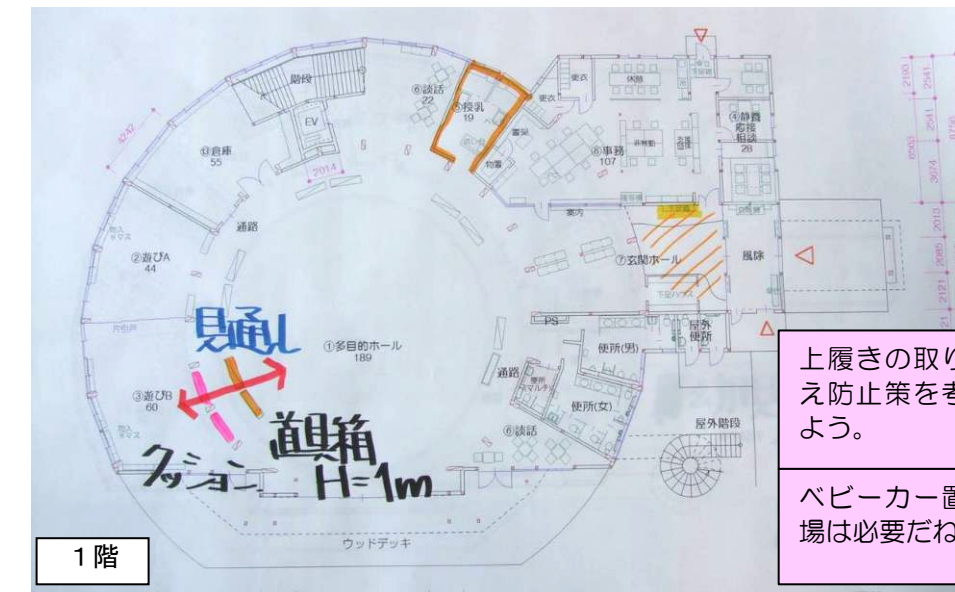
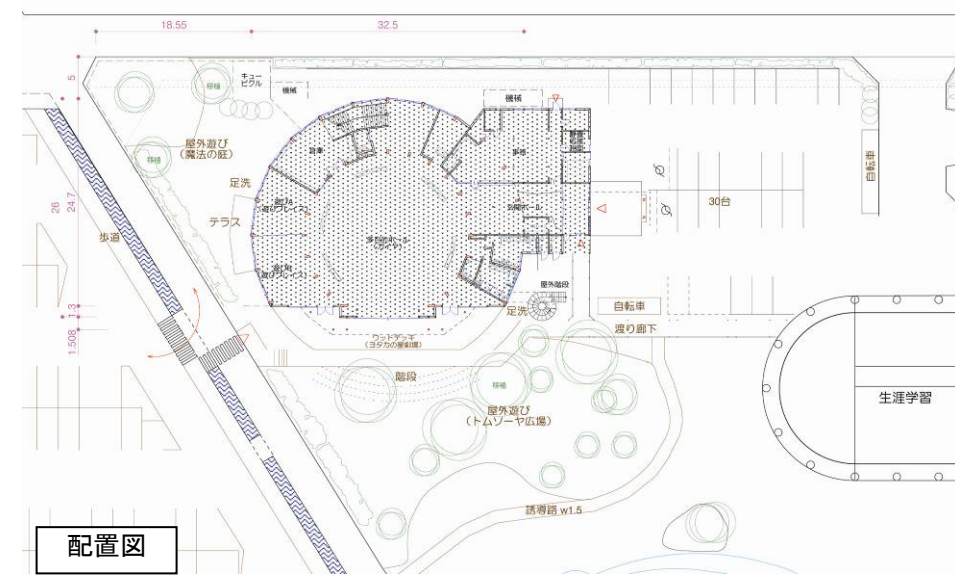


3班



※今回の意見とパブリック・コメントの意見を考慮して、最終的な「(仮称)こども館整備基本計画」を作ります。

経過説明と最終案について



キックオフ・フォーラムやプレワークショップ、そして4回の建築デザインワークショップと参加者の声、意見を積み重ね、形づくっていった検討経緯をふり返りました。

そして、平面プランの構成や各部屋の特徴を説明しました。

説明を聞いて各自、感想や気になる点等をグループ内で伝え合いました。「各部屋から多目的ホールの見通しは?」「乳幼児と小学生のすみわけは?」等、子どもの安全を気にする意見等が話し合われました。

多目的ホールで上のお兄ちゃんが、遊びBで下の子が遊んでいる場合に、どちらからも動きが見えると良い。

上履きの取り違い防止策を考えよう。

ベビーカー置き場は必要だね。

同じ空間でニーズが共存する。例えば乳幼児と小学生等。時間帯による使い分けを考えているの?

中学生の居場所も必要だと思うけど、中学生は入れないのかな?

1階にもあれば、2階に昇らなくてすむのになあ。

ドッチボールなど本格的な球技は体育館など他の施設で行えばいいだろう。連携する仕組みが必要だね。